

QM2 オフィサーのご紹介 -M813

船長 ピーター・フィルポット

Captain: Peter Philpott

イギリス・ケンタンドのフォーケストーン出身。17歳で London and Overseas Freighters Ltd の貨物船に士官候補生として始めて乗船。昇進をすすめ 27歳で Louis Dreyfus Lines 社のチーフ航海士となる。そしてクルーズ船に転換し 1989年 P&O クルーズの第二航海士となる。P&O 社で最初に乗船した船は シープリンセンス号（後のビクトリア号）、その後プリンセスクルーズの船を経験したあと、2002年オセアニア号の副船長となる。船長として初めての勤務は 2007年3月のアルテミス号で、その後オセアニア号、P&O オーストラリアのパシフィックサン号、オーシャンビレッジ2、そして 2010年オーロラ号で舵を取る。2011年、2012年初めにはアルカディアの船長を務める。2008年アルテミス号が初めて大西洋航海したグランドボヤージュの南アメリカ就航時に舵を取ったカーニバル UK 初のそして唯一の船長でもある。ここ5年はクイーンビクトリアで舵を取り 2017年1月にはアマゾン川を 900 マイル進みマナウスに入港した最大の客船の記録を更新しました。おして最大の名誉はクイーンメリー2の船長になったこと、今日世界で最も素晴らしい乗客の皆様を喜んでお迎えします。休暇中は妻のダウン・マリーとイギリス南西のコッツウォルズの家で過ごし、ガーデニングをしたり家族との時間をゆっくり、そして犬の散歩をしたりして過ごしています。自国の歴史や観光地を探検したり、色々なスポーツ観戦も趣味としています。



副船長 オレリアーノ・マッゼーラ

Deputy Captain Aureliano Mazzella

オレリアーノはイタリア・ローマ生まれ、ポンツァ島育ち。海の近くに住み、10歳の頃から祖父と一緒にボートで釣りに出かけていたので船上で働くきっかけとなりました。高校卒業後、ローマの船舶専門学校に入り5年間見習いとして勤め、その後フェリーや化学品を運ぶタンカー船で働きました。その後プリンセスクルーズに入社して見習い期間の残り2年を完了。航海士の資格取得後 P&O クルーズに入社、オリアナやアルカディアに乗船して昇格。2013年キュナードに入社しクイーンエリザベス、クイーンメリー2のセイフティオフィサーとなる。副船長とは船長に続く操舵部門の副責任者で、操舵チームから船のメンテナンスチームまで仕事は幅広く、船全体の安全、セキュリティを統括しています。休暇中はローマとナポリの間の島々の1つ、ボンザツァ島でゆっくりしています。趣味は屋外で楽しめる釣りやバイク。



機関長 ジェイソン・トゥルーマン

Chief Engineer: Jason Truman

ジェイソンは英国・ノッティンガム生まれ。父親の仕事（生産技術者）の関係で小さい頃から工場に行く経験も多く、工学に興味を持つ。世界中を旅することに惹かれていたので、優秀な成績で学業を修めた後、工学への興味と旅行への興味両方を満たす最適な方法として海洋工学を専攻することを選択。その後貨物船会社へ就職を考えていた。しかし P&O 社が機関士見習いには奨学金を出すというので、入社。SSキャンペラに初めて乗船。その数週間のボイラールームと蒸気原動機に関する仕事から、クルーズ船でのキャリアが始まることとなる。P&O クルーズ、プリンセスクルーズ、P&O オーストラリアでどんどん昇格しキュナード社・クイーンエリザベス号にて初めて機関士長となる。専門的で有能なチームと一緒に働くことが嬉しく、また最先端の技術で有名な船でのチャレンジも楽しんでいる。既婚、二人の子供がいる。休暇中は下書きから自分で始めた家作り。



ホテル総支配人 デビット・シェファード

Hotel Manager: David Shepherd

デビットはイングランド、レスター生まれ、マーケットボース近くのシェントンにある両親の牧場で育つ。なぜ海から程遠い英国内陸の農場の子が海の世界に入ったのか？それは家族旅行でノーフォークの湖沼方面に行った時にボートと川に魅了されたため。ノースウォリックシャー専門学校でホスピタリティマネジメントを学び、リーズメトロポリタン大学でもホスピタリティマネジメントを専攻、米国フロリダ・オーランドの有名ホテルで6ヶ月働きました。1994年チェルシーフラワーショー、そして1995年ジャガー社でエリザベス女王の介添え役の名誉に預かる。1995年 P&O オリアナにジュニアパーサーとして入社して旅を楽しむことを決心。その後副パーサー長、パーサー長、顧客サービスマネージャーと昇進を続け 2001年から 2003年はしばらく船の仕事に休憩。2003年 P&O アドニアに復帰したことで P&O の全ての船で働いたこととなる。2009年以降は P&O オリアナ、オーロラ、ベンチャー、アズーラにてパーサー長を務めました。2004年 P&O オリアナの船上にて妻・ジェイドと出会い 2012年4月コッツウォルズ・パーフォードにて結婚。2014年2月にそこに住んでいる。



休暇中は実家の農場や家業（馬の世話やペットの火葬業）を手伝い、ガーデニングや料理を楽しむ。アウトドアも好きで、有名なアルフレッド・ウィンライト 14日間ウォーキングも完歩。子供はハリーとトビーの二人。2012年8月初めてキュナードの船に配属されたのが最も有名な QM2 のホテル総支配人であったことを大変光栄に思っている。お客様皆様特別で思い出に残るクルーズを過ごせるよう細心の注意を払っている。20年間も海上で働く彼の信条は「予想も出来ないことを予想し、信じられないことを信じること」明日がどうなるかわからない、それが海上で働く醍醐味でもあるのだ。

エンターテイメントディレクター アマンダ・リード

Entertainment Director, Amanda Reid

アマンダはイギリスのケント出身、現在もおケント在住。4歳のときにクラシックバレエをはじめ、バレエの専門学校を卒業。ロンドンでも3年間バレエを学び、アドバンスクラス合格、講師となる資格を得る。ロンドンやバルセロナ、チャンネル諸島のジャージーでダンスパフォーマンスをして過ごした後、クイーンエリザベス2に乗船。ダンスキャプテンを12年務める。時にはソーシャルホステスも経験。QE2に続き、キュナード・カウテス、キュナード・プリンセス、ビスタフィヨルド、サガフィヨルドでは歌手でもありダンサーでもあるピーター・ゴルデノのアシスタントを勤める。ピーターが1990年にセレブリティ・クルーズに異動した際もダンス・キャプテンとして同行。その2年後ダンサーを引退しソーシャルホステスになる決意をする。セレブリティクルーズでは当初9隻の船の立ち上げに関わり、2003年シルバーシー・クルーズにソーシャルホステスとして乗船。地中海・オーストラリア・ニュージラランド・ベトナムそしてアジアを巡航するもキュナードに戻りたい気持ちが強くなり 2004年5月ソーシャルホステスとしてクイーン・メリー2に乗船。2年後にはエンターテイメントマネージャーのアシスタントに昇格。クイーン・ビクトリアの処女航海にも参加。2008年からエンターテイメントマネージャーを務めています。

